

2025 年度入学試験 理科 第 1 回

問 題		得点率 (%)	問 題		得点率 (%)	問 題		得点率 (%)	問 題		得点率 (%)
1	(1)	88.9	2	(1)	14.4	3	(1)	88.4	4	(1)	75.5
	(2)	48.6		(2)	25.8		(2)	83.8		(2)	83.8
	(3)	75.5		(3)	50.5		(3)	36.6		(3)①	91.7
	(4)	86.1		(4)	80.1		(4)①	87.5		②	93.5
	(5)	69.9		(5)	54.6		②	99.1		(4)	57.9
	(6)	88.9		(6)	26.4		③	61.3		(5)①	81.0
	(7)	80.1					④	54.2		②	76.4
							⑤	0.5		(6)	38.8
							⑥	40.7			
							(5)	41.3			

合格者最高点 68
合格者最低点 36

1 (物理分野) 熱と電気に関する問題です。

- (1) とてもよくできていました。
- (2) (1) 同様に考えますが、0℃のときの長さが表とは異なる点と全体の長さを問われている点に注意が必要であり、正答率は高くありませんでした。
- (3) 概ねよくできていました。
- (4) とてもよくできていました。
- (5) (4) の根拠として、1℃あたりの伸びの大きさを問うていますが、関連性に気づけず失点した受験生が少なからずいました。
- (6) 問題文中に与えられた式を用いる基本的な計算問題です。
- (7) とてもよくできていました。

2 (化学分野) 気圧に関する問題です。

- (1) 問われているのは 10 km より下にある気体の重さですが、10 km より上にある気体の重さを答えてしまっている答えが散見されました。
- (2) 問われている長さの単位が cm であることに注意が必要です。
- (3) X 面を押し上げる圧力と下げる圧力は等しくなります。
- (4) 表 1 より、空間 A の温度が 1℃上がるごとに h がどれくらい高くなるかを求めます。概ねよくできていました。
- (5) (4) の割合で h が 0 まで小さくなります。
- (6) 酸素の重さが表 1 の 5 倍であることに注意が必要です。無解答が多くありました。

3 (生物分野) 海の生物に関する問題です。

- (1) クジラはほ乳類です。とてもよくできていました。
- (2) 土の中の食物連鎖では、落ち葉や枯れ枝などを微生物が食べ、それらをより大きい生物が食べています。とてもよくできていました。
- (3) 生物たちとそれらが生きる自然環境をまとめたものを生態系と呼んでいます。
- (4) ①②概ねよくできていました。
- ③「プランクトン」は 1 点としました。
- ④⑥最近注目されるようになってきたブルーカーボン生態系についての出題でした。約半数の受験生が正解してくれたことが嬉しいです。
- ⑤「海の砂漠化」も正解です。無解答が多くありました。

(5) 「ウニが増える」、「海藻が減る」ことを述べられていてそれぞれ1点、その結果「産卵場所が減る」、「稚魚の生育場所が減る」ことが述べられていて1点ずつ加点しました。

4 (地学分野) 気象に関する問題です。

(1) [学習メモ] や問題文中の情報を活用して考える問題です。概ねよくできていました。

(2) 概ねよくできていました。

(3) 生物に関連する問題でしたが、とてもよくできていました。

(4) 計算の順序を工夫すると解きやすくなります。期待以上によくできていました。

(5) ①で「上空の風」から偏西風を選べたほとんどの受験生は、②の説明も正しく選べていました。

(6) [学習メモ] や(5)までの問題の情報をまとめて、考えます。「粒の大きさが大きい」、「すべての色の光を散乱する」ことが書けていて2点ずつ加点としました。